



12/3 Hirado City Photo News  
平戸から環境やエコについて考える



平戸文化センターで「第1回エコフェスタ」が開催されました。市内で環境に配慮した取り組みを実践している事業者が集まり、パネル展示やバイオディーゼル燃料車などの展示、各種体験ブースが設置され、多くの家族連れで賑わいました。あわせて、令和4年度緑のカーテンコンクールの表彰式が行われました。最優秀賞は下記のとおりです。  
【保育施設の部】東和愛児園、【教育施設の部】山田小学校、【福祉・民間事業所の部】特別養護老人ホームわだつみの里、【一般家庭の部】小川益見さん

11/20 Hirado City Photo News  
秋の生月に響く喝采



秋の生月の風物詩「いきつき勇魚まつり」が、3年ぶりに開催されました。  
会場を生月支所一帯に移し、物産展のほか、自分が描いた絵がスクリーンで泳ぐ「RICOH おえかき水族館」やフリーマーケット、自衛隊車両の展示など、たくさんのブースが設けられました。  
また、生月勇魚捕唄、町内の各こども園のダンス、五蔵太鼓社中の演奏、葉隠猿芸舎の猿まわしなどのステージイベントに、市内外からの来場者の拍手が鳴り響き、会場は活気に包まれました。

11/18 Hirado City Photo News  
日ごろの感謝を伝える



勤労感謝の日を前に、愛の園保育所の園児が平戸市役所を訪れました。  
園児たちは黒田市長に「いつも平戸市のためにお仕事くださりありがとうございます。お体に気をつけて頑張ってください」と挨拶。市長に似顔絵と感謝のメッセージが入った飾りをプレゼントしました。市長からは、お礼に園児一人ひとりに折り紙を手渡しました。  
園児の皆さんは、市内の事業所を回り、日ごろの感謝を伝えました。

12/10 Hirado City Photo News  
プロレスで平戸を元気に



平戸文化センターでNPO法人九州プロレスによる「平戸ば元気にするパイ」が開催されました。九州プロレスは、「九州ば元気にするパイ」を理念に試合や施設訪問を行っており、平戸市での試合は2回目。この日は3試合が組み、選手が入場すると、その迫力に会場からはどよめきが。ダイナミックな技が決まるたびに、会場からは大きな歓声が上がり、選手を応援する子どもたちの声援が会場内に響きました。試合前には、子どもたちを対象にプロレス教室も開かれ、盛り上がりました。

12/10 Hirado City Photo News  
夜の城下町を楽しむ



平戸港交流広場で「平戸城下ナイトミュージアム点灯式」が行われました。イベント後、訪れた人たちはディスタンス提灯を手に、彩られた平戸城下の散策を楽しんでいました。  
また、手をかざすと消毒液と同時に美しい花びらが手のひらを舞う除菌アート「NAKEDつくばい」や、色や形がさまざまなアーティフィシャルフラワーを自ら選び運勢を占う「NAKED花みくじ」など、光をテーマにしたアートもお披露目されました。なお、このイベントは1月15日(日)まで開催しています。

12/2 Hirado City Photo News  
全国大会での健闘を誓う



「スポGOMI甲子園2022」全国大会を前に、長崎県代表の北松農業高校のチーム「ヌコ」のメンバー3人が市役所を訪れ、黒田市長と面談しました。「ヌコ」の皆さんは、昨年7月に千里ヶ浜海水浴場で行われた「スポGOMI甲子園」長崎県大会で優勝し、全国大会への出場を決めていました。  
メンバーの淵上瑠奈さんは「気を張らずにゴミを拾って、優勝をめざしたい」と全国大会への抱負を述べました。なお、全国大会は12月26日に東京で開催されました。

11/30 Hirado City Photo News  
画面を通して第2回国際交流



田平中学校で、中国福建省南安市の実験中学校とのオンライン交流が行われました。平戸市と南安市は、鄭成功を縁に1995年に友好都市として締結を結んでから、相互に訪問し交流を続けています。  
コロナ禍のためオンラインでの交流となった今回は、両校の生徒がそれぞれの修学旅行や文化祭の様子を紹介。田平中学校の生徒からは「修学旅行での一番の思い出は何ですか」「クラスでは何か生き物を飼っていますか」「中国特有の教科は何ですか」などの質問が上がり、お互いの文化を学びました。